

# ネット系の成長企業が ポストコンサルを積極採用

多くのネット系の成長企業が、経営企画やマーケティング、海外事業などの重要ポジションを担う経営幹部や幹部候補として、コンサルティング会社の出身者である「ポストコンサル」を積極的に採用しているという。企業のポストコンサル採用を数多く支援している人材紹介会社コンコードエグゼクティブグループの渡辺秀和社長に、ポストコンサル採用の実態を解説してもらった。

## ネット系の成長企業の経営者が ポストコンサルを採用する理由

インターネット業界の伸びは著しく、様々な業態の企業が成長を遂げています。グリーやDeNAのようなゲーム・エンターテインメント系のビジネスもあれば、エムスリーやエスエムエスのように社会問題の解決にインパクトを与えるビジネスや、クックパッドやカカクコムのように生活の中に欠かせなくなっているビジネスも多数あります。

今、そのようなネット系の成長企業で、コンサルティング会社の出身者であるポストコンサルを積極的に採用する動きが活発になっています。

その背景には、①経営について論理的かつ定量的な視点から一緒に考えてくれるパートナーがほしい、②比較的若い経営陣にとって20代や30歳前後で経営全体が分かる部下がほしい、③新サービスや海外事業を立ち上げるための責任者を任せられる人材がほしい—という3つの

ニーズが挙げられます。

ポストコンサルは、若い時期から様々なプロジェクトを通じて経営課題を解決する経験を積んでいます。そのため、ネット系の成長企業では経営者のニーズに応える貴重な人材としてポストコンサルに注目し、経営幹部や幹部候補のポジションで積極的に採用しています。

## リーマン・ショックで激変した ポストコンサルの採用環境

ポストコンサルの採用を取り巻く環境は、リーマン・ショックを境に激変した経緯があります。

リーマン・ショック以前は、コンサルティング会社、ファンド・投資銀行、外資系企業などが積極的にポストコンサルを採用していたため、まだ社員の給与水準が低かったネット系企業に転職するポストコンサルは多くありませんでした。

しかし、リーマン・ショック後に状況は一変しました。多くのコンサルティング会社や外資系企業では、部門ごと閉鎖するような大規模なり



### 渡辺 秀和

Hidekazu Watanabe  
株式会社コンコード  
エグゼクティブグループ  
代表取締役社長 CEO

一橋大学卒業後、三和総合研究所 戦略コンサルティング部門、リンクアンドモチベーションHRM事業部マネージャーを経て、キャリアコンサルタントへ転身。ムービンストラテジック・キャリアにて、5年連続No.1キャリアコンサルタントとして活躍、同社パートナーに就任。2008年、コンコードエグゼクティブグループを設立。代表取締役社長CEOに就任。ヘッドハンター・サミット2010において、採用担当者が選ぶ「日本ヘッドハンター大賞」のコンサルティング部門で初代MVPを受賞。

